



東 北 方 面

私財廿萬圓を投じ

橋 梁 架 設

工費拾四萬五千圓仙北一の大架橋コンクリート工事として既報した、遠田郡南郷村から志田郡鹿島臺村に聯絡する木間塚橋は昨年十一月以來工事中であるが、前記木間塚橋は南郷村の南部民の聯絡機關のみで、北部民は一向恩恵に浴さないため、これを

私財二十萬圓を提供し、北部聯絡橋をも架設すべく、この程縣まで寄附方を願ひ出でた由であるが、地方民は同氏の今回の行爲に非常に感激してゐる。

腐朽甚しい岩切村今市橋

宮城縣岩切村河口と今市街との區堺若切川に架けた今市橋は腐朽甚しく所々凹みまたは傾斜面を生じたので仙臺に近い縣道筋としてトラツクや馬車等の運行繁盛な地帯だけに架替を希望されてゐるが何分時代遅れの木橋から鐵筋コンクリート橋に改造するには五、六萬圓を要する關係上貧弱なる

縣土木豫算では、當分見込みなかるべく河原と橋桁との高さ數丈に餘つてゐるので何時いかなる危険もはかり難く、地方民は憂慮してゐる。

新道開鑿工事

宮城縣志田郡鹿島臺村から黒川郡大松澤村に通ずる三里餘の新道開鑿改修工事に關しては、工費三萬圓のうち二萬圓は縣費支辨、一萬圓は關係地元の寄附により、いよいよ近日中に着工する段取りとなつた。この新道が完成された曉ば、全く從來の如き不便は一掃され、完全なる自動車走行道路となる。一方隣接松山町でも、大松澤間の道路改修を出願中で、これもまた完成の上は、全く地方文化の開發のため利すること甚大で、地方民は非常に喜こんである。

東 海 方 面

刈谷縣道改修

愛知縣碧海郡刈谷町大字刈谷四間道路から大字元刈谷字下り松(中川橋)までの延長八百間の縣道改修工事は、昭和四年度内に完成の見込であつたが、一部宇民の反對のため、調印取り纏め困難としてそれが爲め工事着手も延期されてゐたが、新春五年を迎へると共に和解説が成立し、全部調印が終つたので、六月下旬までには完成の見込である。

瀬戸バス延長

愛知縣瀬戸市から市外隣接地への交通機關は電車、バス等相當發達してゐるが、市内のものとしては、新開地宮前間にダイエーバスがあるだけで、しかも短區間なので一般市民の利便も少いので、さらにこれを今村から古瀬町まで延長する計畫が、同バスによつて企てられてゐる。

半田道路愛護共進會

愛知縣半田土木工區では縣道保全のため道路愛護共進會を行つてゐるが、四年の成績は三年より悪かつたので、五年の分を近く開始するため各町村に加入方をすゝめてゐる。

木曾、揖斐、長良川に

架設する東洋一の大橋

今もなほ昔時の面影そのまゝである渡船を唯一の交通機關としてゐる三重、愛知兩縣の境域にある木曾、揖斐、長良の三大川は、その架橋の必要を叫ばれてから十數年を経ながら、工費巨額を要する點に於て未だ着工の運びに至らなかつたところ、最近兩縣ならびに政府當局に於てもその架橋の緊要であることを認め、殊に三重縣では關係するところ大きいため、この際積極的態度をもつて着工の促進をはかるべく、近日

中に愛知縣側と會合内務當局者の立會を求め、具體的方法を講ずることゝなつた、しかし右三大川の架橋工事は土地關係から木曾川を愛知縣に於て、揖斐、長良は連接して三重縣が架設することに申合せ、三重縣側のこれに要する工費二百八十萬圓、内二百十萬圓の國庫補助を受くることゝなつてゐるから結局縣費支出は七十萬圓で足る譯だが、國庫補助は分割交付されるので工事進行上不便多く、ために右補助金額を一時縣費をもつて立替支辨すべくこれが財源を起償にまたんとして内務省に交渉しつゝあり、これが認可と、愛知縣側の着工應諾を得れば縣として直に工を起すことゝなるのである。よつて縣は斯界の權威増田淳氏に委嘱し設計を急いでゐたところいよゝ今度出來上つたが、それによると橋梁は幅七米突、長さ一千百十米突で全部鐵材の最新式であるタイドアーチ式をもつて架設の豫定で、現在東洋一と誇る長大なる徳島縣の

吉野川橋よりなほ長さ三十米突、幅一米突大きく竣工の曉は、全く東洋第一の橋梁として偉觀を呈するであらう。

近畿方面

國道延長申請

府縣制第四十四條に依り淺田奈良縣會議長は内務大臣宛國道十五號線を延長して大和川及紀ノ川兩流域に跨る寶庫を開發し併せて交通上の利便に資する爲め前記兩平野を貫通、和歌山市と聯接の必要あるを縣會一致で認め和歌山縣と携携し左の如き意見書を提出した。

國道は國家の重要幹線道路にして一地方の關係のみに依りて左右すべきものならずと信ず、然れども國道の縱貫或は横貫する府縣が之を幹線道路として産業の發展を計らんとし道路の改築を進めつゝあるは實に時代の要求に適合せる所以なり、今本縣管

内の國道に就て之を檢するに僅々一里餘に過ぎずして其僅少なる他府縣に比類を見ずこれ縣廳所在地たる奈良市が縣の北端に位置するの一事由によるものにして國道網の設定上惠まざる事本縣の如きはなく、單なる法律規定の一事項に由りて他府縣に於ける國家の恩典と比すべからざるの狀態にあるは本縣民の夙に遺憾とする所なり、今隣接するところの和歌山縣を見るに其狀恰も本縣に類似の點あるを認め、故に兩縣の情勢を考ふる時國道十五號線を延長して直接和歌山市に達せしむるは兩縣道路改修の根幹を拓くものにしてまた富源の開殖上懇請に付すべからざる現下喫緊の重要案件なりとす。

惟ふに奈良の地たる實に世界遊覽地中屈指の勝地にして且つ臨海風光の名都たる和歌山市及和歌浦とを連接して京畿に繋ぐのみならず、我が建國の皇祖を奉祀する橿原神宮の畝傍神域を神宮及帝都に結ぶべき大

なる事由の合理的なるを認めらるべきは勿論又之を道路法に照す時府縣廳所在地に達する國道が重複するもの或は二線を有する實例等現存するに徴し敢て不當の願望に非らざるを確信する所以なり、依て當地方交通百年の大計を實現しまた世界觀光都として價值付くるの有意義なるを兩縣一致に於て之を認め以て國道十五號線の延長を冀望するといふにある。

中國方面

宇部東本町道路擴張

山口縣宇部市では、一月十日午後一時から東區選出市會議員及同區有志を集め、東本町道路幅員を二間より三間に擴張の計畫に對し種々打合をなし、同四時散會したが、東區榮町道路擴張も略決定し、これ等各路線が漸次改修完成の曉は、市の面目を一新するものとして期待されてゐる。

九州方面

長門石地内の堤防道路を

市道に認定運動

久留米市長門石町は筑後川を挟んで舊市郡と離れ從來僅に渡船連絡をとり頗る不便であつたが内務省の筑後川改修工事で長門石側に大堤防道路完成し同町民及附近佐賀縣民の之を利用するものが多いので市では之が維持修繕のため長門石地内の同堤防道路を市道に認定することとなり内務省下關土木出張所宛一月十三日その認可陳情書を出した。

大分市の道路改修

大分市内の道路改修熱は近來頓に高まつて、荷揚町電車停留所から縣廳に達する道路の舗装に續き、竹町商店街もこれに倣ふことになり、漸次主要道路は面目を改めん

としてゐるが、一方路線にあつても新開地帯が概ね整備してゐるのに比し、舊市街は不便な個所が多いとて、市當局に開鑿及擴張を希望するもの續出し、市はこれ等に對しては道路敷の寄附によつて希望を満す方針を立て、現に東新町來迎寺脇の工事に近しく着手することになつてゐたが、更に春日神社東側を海岸に貫通する新道開鑿並に同所神社境内から東に向つて通ずる道路の擴張は、同様區からの道路敷寄附によつて實行されることになり、一月九日から實測を初めたが何分市にも縣にも路面固め用のローラーが一臺もないといふ貧弱さなので折角道路が擴改出來ても泥道では路側商店の商品は汚穢され通行者の衣服や履物等も臺なしになるので砂でも多量に運び入れ人間ローラーで踏み固めて貰うより仕方があるまいと泣き事を言つて居る。

市道路がお金になる

舊臘久留米市會において問題となつてゐた、洗町日本足袋工場擴張に伴ひ、新敷地内に介在したる市道路七百坪の變更廢止の件は、一月八日付を以て縣より認可があつたが、その土地は當然同社に拂下となり、市は土地代何萬圓かの財源を得たる譯で、市では之を以て先般削減されたる、道路用ローラーの購入及其他の道路修繕の費用に充當すべく、目下計畫中である。

道路修理奉仕

大牟田市外三池町の南關半鐵線縣道が、雨天續きで路面が非常に粗惡となり、各所が破壊されてゐるので、三池町消防組九十名は、同町駐在所と打合せの上、一月六日午前八時から一齊に出動し、午後五時まで道路修理の奉仕作業を行つた。

小倉市の道路工事

小倉市の失業救済道路工事は、昨年末内

務、大藏兩大臣より起業及二十六萬圓起償認可の決済を得たので、新設路線を決定するが、之が決定は地元及縣主務省等の關係上、相當曲折あるものと見られてゐる。

中津道路改修運動

大分縣宇佐郡海岸線中津市に通ずる、主要道路の宇佐郡八幡村下乙女から大貞桃山附近は非常な悪路で、通行者は不便を感じ地方人は宜しく當局の所置を講ぜられんことを熱望してゐるが杵築、別府、大分間の道路さへ最近自動車發達の趨勢に押されて路面甚だしく破壊され別府温泉に來遊せる英米人等も景色は賞讃して大分より別府龜川日出間の風光明媚な海岸道路をドライブするが其の度毎に悪道路に呆きれて鐵道ツリスト等に注意して歸國する有様なので温泉組合等でも度々其の改良を縣に申請しただれども知事の交迭頻々とありまた土木豫算も貧弱で自動車交通は發達しても道路

用ローラーの一臺もない哀れな縣の事として中津方面までも改良が出来るか疑問視されて來たので宇佐、下毛兩郡民は縣會議員豊田國松氏や藤岡、田口、熊野御堂氏等と縣當局に道路改築とローラーの購入方等に就て寄々運動を始むるに至つた。

橘橋の起工式近く舉行

宮崎市橘橋架橋工事起工式は宮崎市が主催となつて、縣市吏員並に縣市會議員、國道擴張用地潰地寄附者、その他數百名を招待して近く盛大に舉行する筈であるが、市から五百圓乃至八百圓を支出の豫定である尙市の發起で架橋工事協賛會を組織する筈で、近く市役所で協議會を開く事になつて居るが同橋は去る昭和二年八月の洪水で流失したもので橋長は二百二十間、幅員九間總工費一百二十萬圓であつて一月二十三日附内務省から認可されたのである、構造は上落式鐵筋コンクリート連續拱橋で車道と

して中央六間をとり其の兩側各一間半宛を步道とし水面上橋面まで三十三呎を有する譯で大淀川上の交通も之が完成すれば非常な便利となる次第であるが道路橋の新技術には經驗少なき技師技手多く現場の監督や材料使用の經濟等に付き縣會議員や工費分擔の宮崎市側に於ても種々の橋梁につき研究を積み新技術による幾多橋梁の知識ある技師技手をして之が工事に當らしめ選舉夜襲黨嗅等あるものは絶対に避け最も技術に熱心なるものを充つるやう懇請の結果知事に於ても之を諒し假令工事中と雖も研究知識に足らざる者あるときは之を免じ九州隨一の橋梁として永遠に效果あらしむる決心なりといふ。

熊本縣の救民道路策

農産物價格の低落より小農階級は無收入となり非常なる苦境に陥りたれば其れ等窮民の救助と惡路改修に付寄々協議中の由。